

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化
主管課名	建設課		
関係課名	都市計画課		

施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路が整備され、朝夕の交通渋滞が解消されています。 ・身近な生活道路が整備され、毎日の通勤、通学や買い物などが便利になっています。 ・道路の維持管理や除雪が適切に行われ、安全で円滑な交通が確保されています。
---------------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な道路のごみ拾いや除草などを行い、快適な道路環境づくりに努めます。 ・身近な道路の除雪などを行い、冬季間の円滑な道路交通確保に協力します。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市内幹線道路網の整備を計画し、事業の実施に努めます。 ・住民生活に密着し、緊急性・重要性の高い生活道路の整備に順次取り組みます。 ・きめ細かな維持・管理を行い、安全で快適な道路環境の確保に努めます。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで道路の除草や側溝清掃などを行い、快適な道路環境づくりに努めます。

市民意識調査結果	<p><施策満足度調査結果></p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.013</td> <td>0.000</td> <td>0.005</td> <td>0.038</td> <td></td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.013	0.000	0.005	0.038		
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度							
0.013	0.000	0.005	0.038									
<p><施策重要度調査結果></p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>0.723</td> <td>0.805</td> <td>0.620</td> <td></td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		0.723	0.805	0.620			
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度								
	0.723	0.805	0.620									

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	21 (21)	27 (26)	24 (23)	
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	6 (6)	6 (6)	6 (6)	
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	8 (8)	8 (8)	5 (5)	
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	7 (7)	13 (12)	13 (12)	
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	544,398	689,120	579,567	
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	163,587	105,104	32,648	
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	132,458	253,980	90,082	
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	248,353	330,036	456,837	
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—				
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	95	111	98		
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	26,880	29,700	27,320		
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	118,245	124,562	119,716		
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	662,643	813,682	699,283		
効率性 指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	12,285	15,649	13,307	
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	2,668	2,829	2,749	
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	14,953	18,478	16,055	
	同 上	円	—	—	4,399	4,194	4,382	
参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	

基本事業概要シート①

施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名①		幹線道路の整備	
基本事業①の目的(意図)		幹線道路が整備され渋滞が解消されるとともに、近隣市町に短時間で行き来できるようになっています。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【市道黒谷東蔵線道路改良事業、市道吉島10号線道路改良事業】 ・幹線市道2路線について事業用地の取得に努めるとともに工事を施工しました。 【国道8号バイパス対策事業】 ・国土交通省に対して国道8号バイパスの事業促進について要望を行いました。 【道路関係同盟会事務局事務】 ・富山県に対して市内の未改良県道の整備促進について要望を行いました。</p>	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
道路が整備され、安全で快適・便利になったと 感じている市民の割合	%	58.1	58.3	46.7	46.9	47.1	47.3	53.5	55.0
			46.5	44.3	45.3	48.2	49.9		
市内の道路改良率(国・県・市道)	%	79.3	79.4	79.5	79.6	79.7	80.0	80.1	80.5
			79.4	79.7	79.8	79.9	80.0		

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	土木一般管理事業	6,582,000	5,645,219	936,781	-	建設課
2	予算なし	道路関係同盟会事務局事務	0	0	0	-	建設課
3	一般会計	○市道黒谷東蔵線道路改良事業	20,378,493	20,378,493	0	A	建設課
4	一般会計	○市道吉島10号線道路改良事業	44,940,400	6,210,000	38,730,400	A	建設課
5	一般会計	国道8号バイパス対策事業	438,000	413,916	24,084	-	建設課
6	予算なし	◎都市計画道路見直し事務	0	0	0	B	都市計画課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			72,338,893	32,647,628	39,691,265		

基本事業概要シート②

施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名②		生活道路の整備	
基本事業②の目的(意図)		身近な道路が整備され、毎日の生活が便利になっています。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【市道改良舗装事業、各市道道路改良事業】 ・住民生活に密着した市道24路線の改良・舗装工事を実施しました。 【経田地区土地区画整理事業】(再掲) ・経田中央地区土地区画整理事業により事業区域内の市道経田中町漁港線、経田中町5号線の2路線の各一部区間を整備しました。</p>	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
市道の改良率	%	75.9	76.0	76.1	76.2	76.3	76.4	76.5	77.0
市道の舗装率	%	93.5	93.6	93.7	93.7	93.8	93.9	94.0	94.5
			93.7	93.9	94.0	94.1	94.3		

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○市道改良舗装事業	60,000,000	56,252,020	3,747,980	A	建設課
2	一般会計	○市道青島22号線道路改良事業	21,089,771	21,089,771	0	A	建設課
3	一般会計	○市道緑ヶ丘線道路改良事業	10,357,194	10,357,194	0	A	建設課
4	一般会計	○市道六郎丸32号線道路改良事業	2,383,177	2,383,177	0	A	建設課
5	予算なし	○市道六郎丸33号線道路改良事業	0	0	0	A	建設課
6	一般会計	○経田地区土地区画整理事業(施策152再掲)	(176,189,000)	(153,500,813)	(22,688,187)	A	都市計画課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			93,830,142	90,082,162	3,747,980		

基本事業概要シート③

施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名③		道路維持管理体制の強化	
基本事業③の目的(意図)		充実した道路の維持・管理や除雪体制によって、安全で円滑な交通が確保されています。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【道路法に関する事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通規制を伴う道路工事や占用工事の通行制限情報を市ホームページで広報しました。 <p>【市道維持補修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元住民などから苦情・要望のあった道路損傷箇所の維持補修を行いました。 <p>【土木災害応急措置事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存消雪施設のシーズン前の点検・補修を行いました。 地域ぐるみ除排雪事業として地域に貸与している小型除雪機械の更新を行いました。 除雪機械の確保が困難となった民間の除雪作業受託業者ヘリース車両を貸与し、除雪体制の確保を図りました。 <p>【道路付属物等点検事業ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進む道路の路面や付属物の総点検を行い、危険性、緊急性の高い箇所から順次、更新・補修を行いました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
苦情・要望のあった道路補修の実施率	%	74.1	75.0 80.3	76.0 90.6	77.0 85.0	78.0 90.2	79.0 96.3	80.0	85.0
市内の道路除雪延長(国・県・市道)	km	375.6	376.3 380.3	377.0 381.4	377.7 387.4	377.7 391.9	381.7 392.1	382.1	382.6

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	予算なし	臨時運行許可事務	0	0	0	-	市民課
2	一般会計	○市道維持補修事業	38,471,440	38,332,680	138,760	A	建設課
3	一般会計	道路維持一般管理事業	14,936,560	14,857,105	79,455	-	建設課
4	一般会計	◎土木災害応急措置事業	351,132,000	273,170,107	77,961,893	B	建設課
5	一般会計	道路台帳整備事業	10,991,000	8,991,864	1,999,136	-	建設課
6	予算なし	市道認定事務	0	0	0	-	建設課
7	予算なし	道路法に関する事務	0	0	0	-	建設課
8	一般会計	◎道路防災点検(のり面)事業	4,428,000	4,428,000	0	A	建設課
9	一般会計	◎路面陥没危険箇所調査事業	1,701,000	1,701,000	0	A	建設課
10	一般会計	○市道魚津駅友道線他舗装修繕事業	109,740,494	95,934,240	13,806,254	A	建設課
11	一般会計	◎路面性状調査事業	2,000,000	1,944,000	56,000	A	建設課
12	一般会計	◎道路付属物等点検事業	5,020,000	5,020,000	0	A	建設課
13	一般会計	市道等用地借上事業	407,000	404,932	2,068	-	建設課
14	一般会計	◎街路灯更新事業	12,052,800	12,052,800	0	A	建設課
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			550,880,294	456,836,728	94,043,566		

施策No.	16	施策名	快適な道路機能の強化
-------	----	-----	------------

26年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)
	<p>【①幹線道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市民の道路に対する満足度は、平成25年度48.2%に対し平成26年度49.9%と1.7ポイント増加しています。 ◆市内の公道(国、県、市道)の道路改良率及び市道の改良・舗装率の平成26年度実績値は共に目標値を達成しました。 <p>【②生活道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成26年4月1日付け「道路現況調査資料(富山県)」の公道(国、県、市道)の魚津市と県内市計を比較すると、改良率は僅かに高いものの道路幅員が狭い道路の割合がやや多く、また、舗装率もやや高いものの簡易なものが多い状況が伺えます。 <p>【③道路維持管理体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆苦情・要望のあった道路補修の実施率の平成26年度実績値は目標値を達成しました。 ◆市内の公道(国、県、市道)の道路除雪延長は、平成25年度391.9kmに対し平成26年度392.1kmと0.2km増加しています。 <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆幹線道路については、通勤通学時の慢性的な渋滞解消と歩行者の安全通行が望まれています。生活道路についてはある程度整備されていますが、老朽化が進み住民から修繕の要望が絶えない状況であります。また、除雪路線の拡充とよりきめ細かな作業実施の要望が多く寄せられています。
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (26年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)

部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆道路の維持補修と幹線道路網の推進に努めること。 ◆冬期間の除雪機械や除雪作業受託業者の確保に努めること。 ◆国交省では、法令改正による道路管理者の義務の明確化を含む道路の老朽化対策の本格実施を進めており、本市においても持続的な長寿命化対策に取り組むこと。 ◆小学校統合は本市の重要課題であり、学校規模適正化推進計画の目標年度に沿った通学路の整備計画の策定と事業の推進に取り組むこと。 	

経営戦略会議 における施策 の課題及び方針	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆除雪機械や除雪作業受託業者の確保を図るとともに、除雪路線の見直しを進め、冬季間の交通を確保します。 ◆道路施設の長寿命化対策に取り組むなど、現場状況に応じた道路機能の強化と幹線道路網の整備を推進します。 	